



# ガット

東村山市民テニスクラブ協議会・機関紙

## 2月号

発行：  
東村山市民  
テニスクラブ協議会  
会長 川路 俊一



<http://www.higashimurayamatennis.com/>  
<http://www.higashimurayamatennis.com/i.html>

☆平成21年度の市民テ総会が1月24日(日)15:30~18:00にスポーツセンタ大会議室で行われた。  
運営委員会事務局からの平成21年度の運営委員会活動報告(案)を始め各部より活動報告(案)及び平成22年度活動計画(案)の説明があり、活発な質疑応答を含め盛んな総会となった議事等については原案のとおり承認された。  
また役員を選出については、新役員候補(案)の推薦があり別紙のとおり承認された。  
旧役員の皆様長い間お疲れ様でした。新役員の皆様には今後のご活躍よろしくお願ひ致します。

☆2月11日(木)中級スクール(久米川コート)10~12時

1月10日 運営委員会開催 於いて スポセン 会議室

☆川路会長

- コート整備について  
スポーツ課の費用により、荒木田、塩カリの運搬が実施された来年度の整備については3月中旬にならないと決定しない、
- コート確保について  
恩多コートの利用については、ソフト連盟と打ち合わせを実施、詳細は硬庭連を通じて検討の予定

☆小武海副会長

- 柳杯の決算報告及び反省点と課題について報告

☆齊藤副会長

- 正月の西武園球場コート  
2日、3日両日共に、60~70名の参加者があった

**\*全体の総会資料作成**

☆事務局

- 各部会、各クラブ役員紹介
- 今年度もテニス保険に加入(あいおい損保)

☆技術部

- スクール  
今年のスクールが本日より始まった  
1月11日中級スクール開催  
2月のスクールはコートが少ないため、縮小して行う

☆広報部(次期部長)

- 引継ぎを進めている

☆会計部

- 月次決算報告

☆コート取り実行委員

- 2月は少なくなっている(ソフトが強化練習のためか)
- 予約システムの更改について  
1月17日次期委員への説明会実施、システムが2月15日からのため、詳細説明はできず

☆☆各クラブ

- 萩山クラブ  
2月28日(日)午後 西高 練習会

○青葉クラブ

- 役員会 1月17日(日)開催  
2月27日午前 村高 28日午前 西高 練習会

○栄クラブ

- 総会、新年会 1月17日(日)開催

○諏訪クラブ

- 2月27日(土)午前 西高 練習会

○美住クラブ

- 2月28日(日)午後 村高 練習会

### 2月のコート

村高コート	
27日 午前	青葉
27日 午後	栄
28日 午後	美住

西高コート	
27日 午前	諏訪
28日 午前	青葉
28日 午後	萩山

	6(土)	7(日)	11(木)	13(土)	14(日)	20(土)	21(日)	27(土)	28(日)
7-9	D	D	D,E	D,E	D	-	-	D	D
8-9	-	5	3,5	-	5	-	3,5	-	1,5
9-11	2,3	5	3,5	1,2,5	5	1,2,5	3,5	1,2,5	1,5
11-13	2,3,5	2,5	3	1,2,5	5	1,2,5	3,5	1,2,5	1,5
13-15	2,5	5	2,3,5	1,5	2,5	5	2,3,5	3,5	1,2,3,5
15-17	2,5	5	2,3,5	1,5	2,5	-	2,3,5	3,5	1,2,3,5

数字は久米川コート、アルファベットは運動公園コート

『ガット』関連のリクエスト・お問い合わせは⇒編集責任者 青葉クラブ 澤田・m1sa2wa8da@jcom.home.ne.jp まで



平成22年1月10日 よく整備された 久米川コートでの初打ち後の集合写真です

**総会資料**

総会において、過半数の賛成により承認された、決算報告と予算案及び各部活動計画

**平成 21 年度会計決算報告書**

(平成 21 年1月1日～12月31日)

[収入の部]

科 目	予算	決算	摘 要
前期繰越	1,036,353	1,036,353	
年会費	4,920,000	4,928,500	347 名,1 名途中復帰
ナイター会費	120,000	143,500	5,000円×27 名+ビジター収入
本井教室会費	160,000	100,000	参加者負担費
雑収入	5,000	2,070	銀行利子
合 計	6,241,353	6,210,423	

事業積立金特別会計

繰越金= 517,763 円  
 積立金= 100,000 円  
 利息= 305 円  
 合計= 618,068 円

[支出の部]

単位=円

科 目	予算	決算	摘 要
コート代	2,100,000	1,251,750	市営コート,民間コート(20,800 円),還付金(596,200 円)
クラブ運営費	795,000	795,000	別紙参照
ボール代	600,000	518,280	4球入 592 缶、セットボール(21,000 円)
広報費	490,000	480,173	ガット印刷、郵送費、会員名簿、ホームページ運営費他
保険料	413,400	413,400	318 名分
コート取通信費	260,000	243,345	20 名通信費,会議費
本井教室開催費	201,000	251,742	コーチ謝礼、ボール代(60 缶)他
技術部費	100,000	76,270	スクール運営費、会議費、技術向上費他。
柳杯開催費	80,000	434,959	コート代(346,920 円)ボール代(40 缶)会議費、事務費、景品等
親睦費	130,000	137,986	忘年会補助金
事務局費	120,000	68,681	事務諸経費、会議費他
団体加盟費	40,000	40,000	東村山硬式テニス連盟
事業積立金	100,000	100,000	記念事業積立
小計	5,429,400	4,811,586	
予備費	811,953	6,030	側溝清掃諸経費
次期繰越金	0	1,392,807	
合計	6,241,353	6,210,423	

コート整備特別会計

繰越金= 376,348 円  
 受託金= 472,416 円  
 利息= 100 円  
 合計= 848,864 円

単位=円

## 平成22年度予算

平成22年1月24日

(平成22年1月1日～12月31日)

## 〔収入の部〕

単位=円

科目	平成22年度予算	摘要
前期繰越金	1,392,807	
年会費	4,696,000	年会費・入会金
ナイター会費	130,000	5,000円×24名+ビジター10,000円
本井教室参加費	120,000	2,000円×60人
雑収入	5,000	利子等
合計	6,343,807	

## 〔支出の部〕

単位=円

科目	平成22年度予算	摘要
コート代	2,000,000	東村山市市営コート費、民間コート費
各クラブ運営費	779,000	ジュニア・休会者除く、279名分
ボール代	550,000	
広報費	490,000	ガット、ホームページ運営費、名簿他
保険料	391,300	301名×1,300円
本井教室開催費	250,000	コーチ謝礼、ボール代他
技術部費	150,000	スクール運営費、会議費、技術向上費他
柳杯開催費	420,000	コート代、ボール代、事務費、諸経費他
親睦費	130,000	懇親会等
事業積立基金	200,000	記念事業積立基金
事務局費	120,000	事務諸経費、会議費(コート取り実行委員会含む)
団体加盟費	40,000	東村山市テニス連盟会費
小計	5,520,300	
予備費	823,507	
合計	6,343,807	

事業積立金特別会計	
繰越金	618,068円
積立金	200,000円
利息	404円
合計	818,472円

コート整備特別会計	
繰越金	848,864円
コート整備受託金	210,000円
利息	125円
小計	1,058,989円
予備費	50,000円
合計	1,008,989円

## 平成22年度役員一同

会長	川路 俊一	(萩山クラブ)	事務局次長	松原 秀樹	(美住クラブ)
副会長	小武海 一喜	(諏訪クラブ)	事務局員	稲用 一	(栄クラブ)
副会長	斉藤 勝之	(美住クラブ)	(コート取り実行委員長)		
会計部長	河嶋 和興	(萩山クラブ)	事務局員	高木 太輔	(萩山クラブ)
会計副部長	古村 和子	(萩山クラブ)	事務局員	阿部 昌史	(青葉クラブ)
技術部長	市原 順次郎	(青葉クラブ)	会計監査	西村 秀和	(美住クラブ)
広報部長	澤田 正男	(青葉クラブ)	会計監査	明 孝夫	(諏訪クラブ)
事務局長	若林 尚昭	(諏訪クラブ)			

## 運営委員会活動計画

### 1、運営委員会の開催

市民テの円滑な運営を目的とし、毎月第2日曜日に運営委員会を開催します。

### 2、コートの確保

コート取り実行委員会を中心にコート確保に努め、[還付]・[振替]を推進します。また、大会予備日の開放方法については連盟と調整していきます。

#### 1)市営コート

・久米川コート 1月～12月の土・日・祝祭日の昼間

・恩多コート 1月～12月の土・日・祝祭日の早朝(7:00～9:00)・4月～11月の水曜日ナイター(19:00～21:00)

1月ガットでも案内しましたように今年から市のコート予約システムが大幅に変更されます。一団体には7名以上の構成員が必要となることから、コート確保が有利になるか不利になるか不明であり、試行錯誤で柔軟な対応をしていく必要があります。この舵取りは運営委員会を中心に行っていきます

#### 2)外部コート

昨年は、年始と春の大会期間中に柳泉園コートを確保しましたが、その他の時期には外部コートを積極的に確保してきませんでした。それは柳泉園の予約には第一に協力者の確保が必要で、そこに難点があるからであります。運営委員会としてはコートの確保については最優先考えており、状況を確認しながら民間コートの確保やその他の手段でコート確保に努めていきます。

### 3、久米川コートの整備と受託費の使途

今年の委託先は3月に決まります。体育協会が市民テに整備依頼するか不明ですが、依頼された場合はこれを受ける意相を運営委員会で確認しています。整備メンバーもやっと25名の体制(各曜日担当者と都合が合えば参加するフリーメンバーの2段構え)になりましたが、降雨翌日という不定期な対応で、集まりは安定しません。週1日でもよいので整備に参加できる人は登録して頂きたい。委託費用は84万円貯蓄されています。この使途ですが、社会貢献(キッズ教室・スポーツ講演会・久米川コートへのAED設置・学校開放を受けている中高へのボール寄贈等々)や市民テ活動(コート代値上げに備えた積み立金、市民テ全体のイベント費、自動コート予約WEBソフト開発費用等々)などが候補に挙がりましたが、AEDは高額で高温下の保管不可など問題があり、その他は具体的な検討までは進みませんでした。コート整備全体について今年も引き続き検討していきます。なお、平日のコート整備が昼食時にまたがるようなときは、コート整備に参加したメンバーで食事してその費用を整備費積立金から出すことを是とします。

### 4、本井教室

本井教室の市民テの中の位置づけを運営委員会でも十分議論を重ねてきましたが、現在は市民テにとってのイベントという認識です。費用については受益者負担の考えとあわせて、参加者が半額負担している現状は妥当性があると考えています。しかし現状の形式をこのまま継続すべきかも検討していて、運営委員会で開催時期の見直しも含めて引き続き検討していきます。

### 5、事業積立金の適正化検討

事業積立金の目的は40周年記念事業のためのものです。30周年は記念誌発行・記念パーティー・キッズレッスン・記念品。功労者表彰で123万円要しました10年目の節目ということで40周年記念事業も同様の事業を考えています。全体として予備費を加え約130～140万円程度かかると予想しています。そこで40周年を迎えるH25年までの4年間の事業積立金を20万円とします。

### 6、予備費額の適正化検討

今期の予備費は82万円を計上しましたが、来期以降今年のみ予算であれば予備費は、事業積立金を20万円とすると年額10万円ずつ減少し、H25年には50万円と予測されます。予備費として多額との判断はしてません。

### 7、柳杯

柳杯は7月19日(月)海の日を開催候補としていますが、今年も西武のイベントが計画されているようで西武ドームコートの確保が困難な状況です。日程・場所について運営委員会で調整していきます。

### 8、ナイター会員の募集

3月1日～3月31日の1ヶ月間、ナイター会員を募集します。この次期以外は受け付けません。H21年はレギュラー会員27名、ビジター会員5名の参加でした。尚、ナイター会費は、ナイター照明代を会員で負担するのが妥当とされています。昨年ほぼこれを満たした結果になり巻いたことを報告します。

### 9、テニス保険の加入

平成22年も例年通りテニス保険に加入しました。

期間 平成22年1月1日～平成23年1月1日 休部会員を除く会員(正会員)301名(あいおい損害保険)

### 10、新入会員募集

10月1日～10月31日の1ヶ月間、平成23年度の新入会員を募集します。

### 11、会費の妥当性検討

視の公共予約システムの前面見直しにより、コート確保については見通しがつかない状況ではありますが、ガットの郵送費の節約やコート取り通品費の廃止等に伴う会員への還元やコート整備事業の検討に合わせて検討します。

### 12、その他検討課題の取り組み。

## 技術部活動計画

### 1、初心。初級・ジュニアスクール(舞日曜8:30～11:40、久米川コート)

標記対象者について、I期(1月～3月)、II期(6月～8月)III期(11月～12月)の各期間でスクールを開催する。

レッスンは下記時間帯、及びクラス分けで期間ごとのテーマに沿って実施する。

・前半(8:30～10:00) 初心者、ジュニア

・後半(10:10～11:40) 初級者

本スクールは初心者が受講しやすする為、スクール生の技術レベルが初級以上と判題した場合、または市の大会等で上位に入賞したスクール生にはスクール卒業を依頼することがある。

(2)例年通り受講者を事前に募集した。受講登録者は下記の通りであった。

- ・合計 63名(うち新規登録者 24名)
- 前半(初心クラス) 14名(うち新規登録者 7名)
- 後半(初級クラス) 29名(うち新規登録者 9名)
- ジュニア 20名(うち新規登録者 8名)

2、中級スクール(祝日、10:00~12:00、久米川コート)

- (1)1月から12月の祝日を利用して、中級スクールを6回開催する。レッスン対象はスクール生(初心・初級・ジュニア)以外の会員とする
- (2)年間のカリキュラムは事前にガット及び市民テクラブホームページに掲載する。

3、役割分担:技術部の役割分担を以下の通りとする

- 部長 市原 順次郎(青葉クラブ)
- 副部長(前半スクール責任者) 小桧山 隆 (萩山クラブ)
- 副部長(後半スクール責任者) 河野 好太郎(栄クラブ)
- 副部長(中級スクール責任者) 竹内 一能(青葉クラブ)・仙波明子(諏訪クラブ)

4、その他

- (1)レギュラー技術部員を増やし面3名以上を配置し、きめ細かい指導に勤める。
- (2)技術部員の技術向上及び指導技術向上のため、外部指導者によるレッスンや学校施設等を有効活用した練習会を実施する。
- (3)技術向上と親睦交流のため、他クラブと神前試合および懇親会を年3回行う。
- (4)「JTA TENNISU RULEBOOK 2010年度版」を購入し、久米川コートに常備する。
- (5)技術部会を開催する(3~4回/年 納会反省会含む)。
- (6)指導者講習会への参加。
- (7)スクール生対象イベントを企画し開催する。
- (8)市民テのイベントサポート。
- (9)市民テの将来に向けた活動における企画と試行を行い運営委員会へ提案する。

**広報部活動方針**

1、ガット

- (1)月末までに郵送されるように編集活動を行う。
- (2)編集に際しては、間違いや、正確性を欠く内容となつて、クレームが寄せられない様に注意を払う。
- (3)市民テというボランティアの集まりの組織の機関紙として、メンバーの親睦の輪を広げる事の出来る様な内容を目指す。
- (4)広報部員が協力して、紙面作りを担当していく。

2、HP

- (1)HPにアクセスすれば、常に最新情報が掲載されていると言う環境を作る。
- (2)紙面と言うスペース制限が無いので、なるべく多くの人達に登場してもらう様にし、カラフルな写真などで見て楽しいものに仕上げる。

3、会員名簿

- (1)間違いの無い内容とする。
- (2)遅くとも、2月末までに郵送出来るようにする。
- (3)体制

- 部長 澤田 正男(青葉クラブ)
- 副部長 浜野 高秋(栄クラブ)
- 部員 中澤 秀美(栄クラブ)
- 部員 神保 恵(しげる)(萩山クラブ)
- 部員 刈間 久美子(青葉クラブ)
- 部員 井上 修三(美住クラブ)
- 部員 釜付 功(諏訪クラブ)

●平成22年度会員数

(2010.1現在)

クラブ	正 会 員				休 部 会 員				合 計
	一 般	家 族	J r	小 計	一 般	家 族	J r	小 計	
萩 山	46	16	9	71	4	4	0	8	79
青 葉	46	10	6	62	3	1	0	4	66
栄	38	13	2	53	5	0	0	5	58
諏 訪	49	12	3	64	5	2	0	7	71
美 住	41	8	2	51	11	3	0	14	65
計	220	59	22	301	28	10	0	38	339